

＜記入例：高知大学内利用＞

**先端研究基盤共用促進事業：新たな共用システム導入支援
高知コアセンター分析装置群共用システム利用申請書**

提出日を記載して下さい。
日付は利用日以前の
年月日になります。

申請書作成年月日 平成 29年10月10日

高知コアセンター分析装置群共用システムの利用を、下記のとおり申し込みます。利用に当たっては、高知大学海洋コア総合研究センター及び海洋研究開発機構高知コア研究所、両研究機関の共用システム利用に関する規則等を遵守します。

課題申請者氏名(ふりがな) 朝倉 万次郎(あさくら まんじろう)
 所属研究機関名/会社名 高知大学 部署名 理工学部(教育研究部自然科学系理学部門)
 職名 教授 任期付(雇用資金源や関連プロジェクト: _____)
 連絡先住所 〒780-8520 高知県高知市曙町2丁目5-1
 TEL: 000-0000-0000 (内線 xxxxx) FAX: 000-0000-0000 Email: 〇〇〇〇@XXXXX

※ 課題申請者が学生の場合は指導教員について記載して下さい。

指導教員 _____ 所属職名 _____

緊急を要する連絡に備え、連絡の取りやすい電話番号を記載して下さい。

利用者情報	氏名	所属機関名/職名 (学生は大学名/学年)	(連絡担当者はEメール及びTEL)
利用者 (連絡担当者に○印)	○ 朝倉 万次郎	高知大学理工学部/教授	000-0000-0000 〇〇〇〇@XXXXX
	岡豊 花子	理工学部 M2	〇〇〇〇@XXXXX
	物部 太郎	理工学部 B4	〇〇〇〇@XXXXX
研究課題名 〇〇湾に分布する堆積物の供給源推定による古環境復元			
研究概要・計画(250～300字程度) 〇〇湾周辺は××川や海流の影響を敏感に受けており、過去の地殻変動や海流の流路変更を知るには有効な研究材料である。本研究課題では……航海で採取されたピストンコア試料について、XXXXX や△△△装置を用いて、堆積物試料の炭素や窒素同位体比分析により堆積物の供給源を推定し、〇〇湾周辺での古環境復元を行う。			
利用希望機器	機器名	利用内容	機器担当者との 打合せ状況
	1. X線CTスキャナ	<input checked="" type="checkbox"/> 機器利用 <input type="checkbox"/> 委託分析 *) <input type="checkbox"/> 技術相談	<input checked="" type="checkbox"/> 済 <input type="checkbox"/> 未 機器担当者名： <u>湖亜 真林</u>
	2. 元素分析オンライン質量分析計	<input checked="" type="checkbox"/> 機器利用	<input type="checkbox"/> 済 <input checked="" type="checkbox"/> 未
* 委託分析は限定された機器のみ対応可能です。詳細は機器担当者にお問い合わせください。			
利用希望期間	1 : H29年 10月 20日 ～ H29年 11月 10日 (うち2日間程度) 2 : H29年 12月 1日 ～ H29年 1月 31日 (うち4日間程度) 3 : 年 月 日 ～ 年 月 日 (日間)		

利用者数が5人以上の場合には、行を加える、他の項目の余白を狭くする等調整して、もれなく記載して下さい。

上欄の利用希望機器の番号に合わせて、それぞれの希望期間を記載してください。日数が未定の場合は、想定される最大利用日数をご記入ください。

1研究課題につき1枚利用申請書を提出することで、年度内の複数回の利用が可能です。また、申請期間は年度内です。年度をまたぐ場合には、新たな申請が必要です。

成果公開	<input checked="" type="checkbox"/> 成果公開 (研究課題、代表者名が HP 上で公表されます。) <input type="checkbox"/> 成果非公開 (原則非公開。利用は匿名で HP 上に公表されます。) * 公開/非公開にかかわらず、本事業では成果公開を希望する場合があります。本利		
	学内利用は原則として成果公開をお願いしています。成果公開について不都合がある場合や、ご不明な点がありましたら、別途ご相談下さい。		
測定試料	予定測定数	予定試料数 × 希望測定回数(試料1個あたり) = 合計測定数 CT : <u>10</u> (個) × <u>1</u> (測定) = <u>5</u> (測定) 程度 EA-IRMS : <u>50-100</u> (個) × <u>1</u> (測定) = <u>50-100</u> (測定) 程度	
	所有権	所有者名 <u>大海龍馬</u>	所有権者の使用許諾 <input type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> その他(<u>申請者本人</u>)
	産地	<u>〇〇湾</u>	
	生物試料の場合	<input type="checkbox"/> ヒト細胞 <input type="checkbox"/> 動物細胞 <input type="checkbox"/> 微生物 <input type="checkbox"/> その他() Biosafety level (BSL) _____ * 試料によっては、別途申請書類の提出が必要になる場合があります。	
	積み時の形状	<u>ピストンコア 1m × 10本</u> <u>堆積物試料 50~100 試料程度</u>	
	取扱いに関する特記・注意事項	<u>ピストンコアの搬入の際に、台車を使用したい</u>	
安全に関する手続き	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり (<input type="checkbox"/> 国際規制物資 <input type="checkbox"/> 密封状放射性物質 <input type="checkbox"/> 毒物・劇物等薬品類)		
法令等の遵守の義務	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし <input type="checkbox"/> 該当あり (該当ありの場合 <input type="checkbox"/> 対応・措置済) 例) ワシントン条約で規制されている動植物、加工製品。世界遺産、国定公園、特別保護区、国の天然記念物等から採取した試料等。生物多様性条約及び名古屋議定書等に定められた遺伝資源の利用等。植物防疫法(第7条)に係る試料(土壌サンプル)等。		
要望事項など	<u>まずは X 線 CT スキャナを 10 月下旬から 11 月上旬に 1~2 日程度利用したい。</u> <u>また、元素分析オンライン質量分析計については、マシンタイムを確認し 12~1 月中の間に 2 日間ずつ 2 回利用をしたいと考えている。</u>		

本事業を知ったきっかけ	<input type="checkbox"/> ウェブサイト <input type="checkbox"/> 学会 (学会名: _____)	<input type="checkbox"/> 紹介 (紹介者名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (<u>教授会での説明</u>)
利用申請に当たっての注意事項		
1. この利用申請書は高知コアセンター分析装置群 共用システムオフィスにメールで提出してください。(kcc-kyoyo@kochi-u.ac.jp) 2. 初めて使用する機器の申請では、事前に各機器担当者に問い合わせをし、指導又は講習を受ける時間を加えた日程で申し込んでください。 3. 申請内容に変更が生じたときには、メール又は電話にて速やかにご連絡下さい。(088-86-XXXX)		
4. 課題申請者に記載された方が利用料の支払い義務を負います。 5. 試料・機器によって、別途申請書類の提出が必要になる場合があります。 6. 試料への保険及び試料輸送については、課題申請者・利用者で手配お願いします。		
* 高知コアセンター記載欄		
機器の利用日数を想定できない場合も、事前に機器担当者にお問い合わせ下さい。		

高知コアセンター分析装置群共用システム 料金支払方法(学内利用)

平成 29 年 10 月 10 日

課題申請者氏名 朝倉 万次郎

所属 理工学部(教育研究部自然科学系理学部門)

下段に記載の予算財源についてご確認の上、利用料金の支払方法を選択してください

①予算振替 (下記に希望の予算詳細を記載してください)

経理单位名称	経理単位コード	予算科目名称	予算科目コード
.....

②請求書払い (下記に希望の予算詳細を記載してください)

経理单位名称	経理単位コード	予算科目名称	予算科目コード
○○○○○○○	○○○○○○○	○○○○○○○	○○○○○○○

③その他(振込・現金支払)

大学管理以外の予算(私費等)での支払をご希望の場合.

<備考>

X 線 CT スキャナの利用料金は予算振替での支払い

元素分析オンライン質量分析計の利用料金は科研費からの請求書払いを希望

予算財源によって、支払方法が変わります。(①予算振替、②請求書払い、③その他(振込・現金支払))

① 予算振替となる財源

- ・運営費交付金等の学内財源予算
 - ・寄附金(経理単位コード:KF を含む)
 - ・科研費間接経費(経理単位コード:KK 又は HH を含む)
- ※ 予算振替の場合は、会計システム上の予算額が振替によって減額となって反映されます。

② 請求書払いとなる財源

- ・受託研究経費・共同研究費(経理単位コード:JA~JE または KA~KE を含む)
 - ・受託事業費・共同事業費(経理単位コード:WA~WE または HA~HE を含む)
 - ・科学研究費補助事業
 - ・その他補助金(経理単位コード:HJ を含む)
 - ・助成金(経理単位コード:JS を含む)
- ※ 請求書払いの場合は、会計システム上の執行額に利用料金として反映されます。
※ 外部資金(特に受託研究費・助成金・その他補助金)によっては、機器利用料として予算を利用できない場合があります。不明点がある場合は以下の連絡先までお問い合わせください。

連絡先: 岡豊キャンパス以外の教職員

研究推進課研究助成係 TEL: 088-844-8893 E-mail: kk04@kochi-u.ac.jp

岡豊キャンパスの教職員

会計課外部資金担当係 TEL: 088-880-2243 E-mail: ik25@kochi-u.ac.jp

③ その他(振込・現金支払)

大学管理以外の予算(私費等)での支払をご希望の場合は、振込もしくは利用当日の現金支払となります。